*パイン! SPORTS とっとり

財団法人 鳥取県体育協会広報誌

2009 September

平成20年度 財団法人鳥取県体育協会 表彰

8

財団法人鳥取県体育協会 管理施設紹介

Contents 会長挨拶 平成21年度 財団法人鳥取県体育協会 事業計画 財団法人鳥取県体育協 役員等

財団法人 鳥取県体育協会広報誌 創刊にあたって

皆様におかれましては、日頃から本県のスポーツ振興と当協会事業の 推進に格別のご支援、ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本協会は、鳥取県におけるアマチュアスポーツの統括団体として、県 民の体力の向上とスポーツの振興に寄与することを目的とし、生涯スポーツの推進、競技力の向上等のための各種の事業と指定管理者として県 立体育施設の管理運営を行っております。

このたび、本協会の業務や本県におけるスポーツ活動の情報を広く体育スポーツ関係者、県民の皆様に提供するとともに、アマチュアスポーツの一層の普及発展を図るため、機関誌を発行することにしました。

この創刊号では、県民の方々が気軽に利用していただける県立体育施設の紹介もしておりますので、皆様がスポーツに親しむきっかけになればと期待しております。

今後も一層本県のスポーツの振興、発展に取り組んでまいりますので、 ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



財団法人鳥取県体育協会会長田 渕 康 允



事業計画



I 基本方針

本協会は、本県におけるアマチュアスポーツの統括団体として、加盟団体はもとより、県内における体育・スポーツ関係機関・団体等の連携のもとに、広く県民にス

ポーツの生活化を推進するとともに競技力向上に努め、 県民に夢と感動と活力を与えるスポーツ活動の一層の振 興を図る。

II 事業目的

- 1. スポーツ振興のための基本方針を確立する。
- 2. 加盟団体の強化発展及び相互の連絡調整を図る。
- 3. スポーツに関する宣伝、啓発、指導及び奨励を行う。
- 4. 体育大会、各種講習会を実施し、又はその実施について援助する。
- 5. スポーツ振興について、関係行政機関に対して意見

を述べ、又はその施策に協力する。

- 6. スポーツ少年団を育成する。
- 7. 鳥取県から委託を受けたスポーツ等に関する施設の管理運営を行う。
- 8. その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行う。

Ⅲ 平成21年度の主要事業概要

1. 加盟団体の強化発展及び相互の連絡調整

(1)ジュニア強化事業

・高校部指定強化高校の部を指定し、高校生の選手強化を図る。

(2)医・科学サポート事業

- ・国体選手をはじめとする県内のスポーツ選手に医科学トレーニング指導及び、栄養指導を実施する。
- ・指導者、選手を対象としたアンチ・ドーピングの講習会を開催する。

(3)わかとり国体開催記念スポーツ振興基金事業

※わかとり国体開催を記念して、鳥取県から交付された5億円余の補助金利息を活用し、スポーツ振興を図るもの。

- ①ジュニア養成計画策定事業
- ②選手・指導者研修派遣事業
- ③全国大会 · 国際大会派遣事業
- ④情報収集活動事業
- ⑤県外優秀チーム招待事業
- ⑥強化用消耗品等条件整備事業
- ⑦スポーツ大会開催事業

- ⑧鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催関連事業
- ⑨スポーツ少年団活動事業
- ⑩オリンピック等出場選手激励事業
- ⑪企業等優秀スポーツクラブ激励事業
- ②部活動優秀指導者招へい強化事業
- ③大韓民国江原道とのスポーツ交流事業

2. スポーツに関する宣伝、啓発、指導及び奨励

(1)体協表彰の実施

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県 スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を 育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を上げ た選手について、表彰する。

(2)広報活動の推進

本会の業務や本県スポーツ活動の状況を県民、関係者に周知するために広報活動の充実を図る。

3. 体育大会 各種講習会の実施・援助

(1)大韓民国江原道とのスポーツ交流

本県体育協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道スポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

平成21年度は江原道(東海市)で開催する。(12月) 4競技(バレーボール、レスリング、卓球、柔道)

(2)第10回鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の 開催

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全 県的な規模で実践する場を提供することにより、 県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生 涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活 性化を進める。

(3)第22回全国スポーツ・レクリエーション祭への選手団派遣

スポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を県民に広く提供することにより、スポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、もって県民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興に資する。

期 日:平成21年10月17日~20日

会 場:宮崎県内各市町村

(4)公認スポーツ指導者養成講習会の開催

(5)公認スポーツ指導者研修会の開催

(6)国民体育大会への選手団派遣

- ①国体県予選会の開催
- ②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣
- ③第64回本国体及び第65回冬季大会への選手団派遣
 - ・新潟県で開催される「トキめき新潟国体」に 選手団を派遣する。

期 日:平成21年9月26日~10月6日

場 所:新潟県

・第65回冬季大会に選手団を派遣する。 (スケート、アイスホッケー競技)

期 日:平成22年1月27日~31日

場所:北海道釧路市

(スキー競技)

期 日:平成22年2月25日~28日

場 所:北海道札幌市

4. スポーツ振興のため関係行政機関への協力

(1)総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

- ・クラブ育成アドバイザーの配置
- ・総合型地域スポーツクラブ育成委員会の開催
- ・都道府県クラブマネージャー研修会の開催
- ・未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動
- ・総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラムの開催

- 育成指定クラブ連絡協議会の開催
- ・総合型クラブ育成支援チームの派遣
- ・先進クラブの状況調査
- ・総合型クラブ啓発チラシの発行

(2)障害者スポーツ協会との連携

・障害者スポーツ協会と連携し、障害者のスポーツ活動の充実に努める。

5. スポーツ少年団の育成・

- ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認 定員養成講習会を開催する。
- ・中国ブロックスポーツ少年団少年大会を開催する。
- ・シニアリーダースクール、全国少年大会へ団員を 派遣する。
- ・組織整備強化事業を実施する。

6. 体育施設の管理

・指定管理者として、県立体育施設(6施設)の管理を行う。

- (1) コカ・コーラウエストスポーツパーク (鳥取県立布勢総合運動公園)
- (2) 鳥取気立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール
- (3) 鳥取県立倉吉体育文化会館

- (4) 鳥取県営米子屋内プール
- (5) 鳥取県立米子産業体育館
 - (6) 鳥取県立武道館

7. 指定管理施設スポーツ振興事業基金の活用

・指定管理施設スポーツ振興事業基金を活用し、本県スポーツの振興に関する各種事業を実施する。

(1)保育園・幼稚園・小学校校庭芝生緑化拠点事業

各学校の校庭や遊具ゾーンに、児童や保護者と共に 芝植え作業を行い、校庭の緑化を目指す。

· 実施箇所: 7箇所

· 対 象:保育園·幼稚園·小学校



植え付け (平成21年6月13日)



植え付けから2ヶ月後

(2)ジュニア強化テニス教室

鳥取県テニス競技の振興及び地域ジュニアの育成、将来の鳥取県代表選手を育成する。

・開催日:平成21年4月~平成22年3月まで

・対象者:小・中学生のテニス経験者

(3)その他

スポーツ振興に関する各種事業

8. その他

(1)自転車競技場の管理運営

- ・ 倉吉自転車競技場の管理運営を特定非営利活動 法人たかしろに委託する。
- ・その他事務

(2)スポーツ安全保険業務

・財団法人スポーツ安全協会鳥取県支部と業務及 び経費について協定を交わし、スポーツ安全保 険業務を行う。

平成21年度 財団法人鳥取県体育協会

役員等



名誉顧問・顧問

名誉副会長	浜崎芳宏	
顧問	平林鴻三 西尾邑次 藤井喜臣	

理事·幹事

上王 号	# -	누ㅓ	- +	ŧ									
役員		氏	名		役職・区分		役員		氏	名		役職・区	分
会長	田	渕	康	允		【学識経験者】	理事	岩	本自	自 美	子	(財)鳥取県国際交流財団 事務	局次長 【学識経験者】
副会長	油	野	利	博	鳥取大学地域学部 教授	【学識経験者】	//	上	山	房	之	鳥取県障害者スポーツ協会 事	務局長 【学識経験者】
"	Ξ	岡真	美	子	鳥取県体操協会 理事	【学識経験者】	"	林	原		潤	鳥取県カヌー協会 理事長	【競技団体】
専務 理事	Ш	П	-	彦		【学識経験者】	"	岡	田	行	雄	鳥取県自転車競技連盟 理事	長 【競技団体】
常務 理事	平	家		悟	三洋電機コンシューマエレクトロニクス	(株) 総務部長 【学識経験者】	"	圌	Ш	仁	司	鳥取県弓道連盟 理事長	【競技団体】
"	佐	分禾	间育	代	鳥取大学地域学部 教授	【学識経験者】	"	井	上	慶	身	鳥取県空手道連盟 理事長	【競技団体】
"	岩	本	章	嗣	鳥取県スケート連盟 会長	【競技団体】	"	高	岡智	曾奈	美	鳥取県フェンシング協会 理事	」 【競技団体】
"	Ш	П		武	鳥取県水泳連盟 専務理事	【競技団体】	"	小	倉	健	-	鳥取県バスケットボール協会	理事長 【競技団体】
"	平	野	宏	幸	鳥取陸上競技協会 事務局長	【競技団体】	"	山	根		長	鳥取県テニス協会 副会長	【競技団体】
"	宮	石	憲	±	鳥取県剣道連盟 会長	【競技団体】	"	高	橋	啓	子	鳥取県バレーボール協会 常作	壬理事 【競技団体】
"	±	橋	義	親	鳥取県ホッケー協会 理事長	【競技団体】	"	小	玉	正	猛	鳥取県武術太極拳連盟 会長	【競技団体】
"	中	村書	* 太	郎	鳥取県ゲートボール協会 会長	【競技団体】	//	井	原て) ろ	み	鳥取県エアロビック連盟 理事	事長【競技団体】
"	宇	田丿	貴	生	高等学校体育連盟 理事長 【質	ź校体育団体】	//	岸	田	勇	人	中学校体育連盟 理事長	【学校体育団体】
"	秋	山	光	行	鳥取市体育協会 事務局長 【書	『市体育協会】	"	本	名	俊	正	鳥取大学 副学長	【学校体育団体】
"	角		秋	児	米子市体育協会 理事長 【君	『市体育協会】	//	中	尾		等	八頭郡体育会 理事長	【郡市体育協会】
理事	福	本	慎	-	鳥取県教育委員会 事務局次長	【学識経験者】	"	桑	本	圭	=	倉吉市体育協会 会長	【郡市体育協会】
"	清	水	正	人	清水病院 院長	【学識経験者】	"	善	波		周	境港市体育協会 理事長	【郡市体育協会】
"	山	名	恵	美	鳥取県体育指導委員協議会 理事	事 【学識経験者】	監事	馬	壁耶	悤之	介		
"	齋	尾智	ョ恵	理	鳥取県体育指導委員協議会 女性	生委員長 【学識経験者】	"	浦	林	梅	樹		

評 議 員

₽Т	邔荻	只				
	F	氏	名		団 体 名	役 職
1	福	田	英	_	スキー連盟	副会長
2	林	田	房	雄	スケート連盟	理事長
3	藤	野	純	-	アイスホッケー連盟	副理事長
4	長	谷丿	Ⅱ勝	寿	バイアスロン連盟	理事長
5	中	原	利	幸	陸上競技協会	理事長
6	横	山	憲	-	(財)水泳連盟	副理事長
7	高	田	貴	志	サッカー協会	理 事 (事務局長)
8	稲	田		睦	テニス協会	理事長
9	竹	田兼	新 太	郎	ボート協会	理事長
10	坂	田	陽	彦	ホッケー協会	事務局長
11	林		善	博	アマチュアボクシング連盟	理事長
12	足	立	幹	夫	バレーボール協会	会 長
13	宮	部女	记佐	雄	体操協会	副会長
14	小	西	秀	明	バスケットボール協会	事務局長
15	杉	谷		忍	レスリング協会	事務局長
16	富	田	博	司	セーリング連盟	理事長
17	中	嶋	政	幸	ウエイトリフティング協会	会長代行 兼理事長
18	明	穂	光	也	ハンドボール協会	副理事長
19	笠	見	孝	徳	自転車競技連盟	財務部長
20	安	東	健	司	ソフトテニス連盟	理事長
21	谷	П	和	敏	卓球連盟	理事長
22	筒	井		実	軟式野球連盟	理事長
23	小	村	仁	志	相撲連盟	事務局長
24	小	谷		茂	馬術連盟	会 長
25	山	宮	順	-	フェンシング連盟	理事長
26	常	田	享	詳	柔道連盟	会 長
27	権	代	真	廣	ソフトボール協会	副会長
28	宮	本	義	夫	バドミントン協会	副理事長
29	羽	戸	豊	Ξ	弓道連盟	副会長
30	松	本	雅	文	ライフル射撃協会	理事長
31	石	井		明	剣道連盟	事務局長
32	長	見	奠	文	ラグビーフットボール協会	理事長

	B	į.	名		団 体 名	役職
33	安	田	信	=	山岳協会	副会長
34	柴	田	美	穂	カヌー協会	常任理事
35	村	田	安	功	アーチェリー協会	事務局長
36	Ξ	村	健	-	空手道連盟	事務局長
37	上	萬		淳	銃剣道連盟	理事長
38	安	木		顕	クレー射撃協会	理事長
39	西	尾	芳	子	なぎなた連盟	理 事
40	加	藤	幸	雄	ボウリング連盟	理事長
41	遠	藤		喬	ゴルフ協会	事務局長
42	西	村	為	吉	ゲートボール協会	理事長
43	柴	田	利	幸	綱引連盟	理事長
44	竹	森	幹	人	少林寺拳法連盟	理 事
45	牧	田	圭	子	グラウンドゴルフ協会	理 事
46	松	森	信	博	トライアスロン協会	理 事
47	前	田屋	壹 —	郎	武術太極拳連盟	理事長
48	植	木	文	雄	エアロビック連盟	理 事
49	中	田	利	幸	スポーツチャンバラ協会	理事長
50	田	中	英	教	鳥取市体育協会	副会長
51	椿		正	昌	米子市体育協会	副会長
52	奥	田	義	富	倉吉市体育協会	事務局長
53	松	本		熙	境港市体育協会	副会長
54	植	田	武	郎	岩美町体育会	会 長
55	瀧	田		修	八頭郡体育会	副会長
56	宮	脇	正	道	東伯郡体育協会	会 長
57	圓	山	湧	-	西伯郡体育協会	理事長
58	松	本	豊	文	日野郡体育協会	副会長
59	大	原	洋	Ξ	高等学校体育連盟	会 長
60	安	藤	敦	仁	中学校体育連盟	会 長
61	加	藤	敏	明	鳥取大学体育連合会	理 事
62	池	本	幸	雄	米子工業高等専門学校体育連合会	理事長
63	逢	坂	秀	樹	鳥取短期大学体育連合会	理 事
64	大	森	教	雄	高等学校野球連盟	理事長

表彰



平成21年2月21日(土)、白兎会館において、平成20年度の体育協会表彰を行いました。 この表彰は、本県スポーツの発展のため功績のあった方に対して行っています。

【体育功労賞】

椎木喜久男 (スキー連盟)

田中宣彦 (中体連・陸上競技協会)

川 口 武 (水泳連盟)

長谷川勝壽 (ライフル射撃協会)

渡邉三郎 (剣道連盟)

西村為吉 (ゲートボール協会)

岩谷四郎 (鳥取市体育協会)

八 田 滋 (米子市体育協会)

故森田政則 (障害者スポーツ協会)

【優秀指導者賞】

市田孝憲 (陸上競技協会) 山中 幸 (体操協会)

伊木 洋 (バスケットボール協会・米子市体育協会)

玉木 茂 (フェンシング協会)

岸 田 芊 (剣道連盟・倉吉市体育協会)

【特別賞】

前島博之

(世界ろう者陸上競技選手権大会)

森田 望

(アジアジュニア選手権大会:ボート競技)

山本隆弘

(北京オリンピック:バレーボール競技)

和田見里美

(北京オリンピック:自転車競技)

バーサンドルジ

(世界ジュニア相撲選手権大会)

上 田 幸 佳

(世界女子ジュニア相撲選手権大会)

山口雅弘

(世界相撲選手権大会)

若 林 春 日

(世界空手道選手権大会)





各賞	受賞者数(延人数)	賞 の 概 要				
体育功労賞	9名	永年にわたり、本県のスポーツ発展のために尽瘁し功績のあった者。				
優秀指導者賞	5名	長期にわたり、選手の育成強化又はスポーツの普及指導に優秀な成績を上 げ、本県スポーツの発展のため顕著な功績のあった者。				
スポーツ賞	個人 44名、 団体 7チーム48名	当該年度の全国大会等において、上位に入賞した選手又はチーム。				
スポーツ敢闘賞	個人 39名 団体 15チーム77名	当該年度の全国大会等において、入賞し敢闘した選手又はチーム。				
スポーツ奨励賞	個人 28名 団体 4チーム37名	当該年度の職域または特別の出場制限を設けた全国大会等において、上位 に入賞した選手又はチーム。				
特 別 賞	8名	◆オリンピック大会及びパラリンピック大会に出場した選手並びに国際大会で優秀な成績を上げた選手。◆全国スポーツ・レクリエーション祭等本県が開催する全国規模の大会等において著しく貢献した者。◆各競技における特別な資格を取得する等して、本県のスポーツの充実、発展に著しく貢献し他の模範となった者。				
合 計	295名 内訳〔個人13	3名、団体26チーム(162名)〕				

施設紹介



コカ・コーラウエストスポーツパーク(布勢総合運動公園)

施設長より一言



昭和60年のわかとり国体での開閉会式会場という歴史をもち、園 内は四季折々に咲く花等に囲まれています。施設では様々な大会が 開催され、また、季節に応じたイベント・スポーツ教室を主催し多く の参加者でにぎわっています。「安心して快適にご利用いただく」こ とをモットーに、今後とも皆様のご来園を心からお待ちしています。



施設の年間事業

4月 なし

5月 グランドゴルフ大会 ナイター陸上競技大会等

6月 親子でキャッチボール ストラックアウト大会等 グラウンド・ゴルフ大会

7月 グランドゴルフ大会

8月 カブト虫観察 プランター教室等 ナイター陸上大会 9月 ナイター陸上大会

ミックスダブルス卓球大会等 キノコ狩り

10月 緑の感謝祭

フリーマーケット 親子チャレンジスポーツ祭

11月 布勢ピンポン大会 親子でキャッチボール グラウンド・ゴルフ大会

ネイチャーゲーム

12月 パソコン教室年賀状作り

1月 布勢ピンポン大会

2月 30N3バスケ大会

3月 親子ダブルス卓球大会 布勢ミニサッカー大会 グラウンド・ゴルフ大会

> 各種スポーツ教室も 年間を通じて開催中!

住 所 〒680-0944 鳥取市布勢146-1

電 話 0857-31-6911

ホームページ

http://www.fuse-sportspark.com/

FAX 0857-31-6912

Eメール

kenmintaikukan@triton.ocn.ne.jp

鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

施設長より一言



メインアリーナ (大体育館)、サブアリーナ (小体育館)、そし て25m7コースの屋内プールがありますが、県民の皆様が安 心して、誰でも、気軽に利用できる施設であり、スポーツ教室・ 水泳教室も多彩なメニューを用意しております。

また、アリーナはスポーツ活動等のほか、展示会等産業・文化 活動にも利用できます。ぜひおいでください。



施設の年間事業

〔スポーツ教室〕

1期 4月下旬~7月下旬 2期 9月中旬~12月中旬 3期 1月上旬~3月下旬

種目:バドミントン、卓球、テニス、 新体操、エアロビクス、

健康スポーツ

対象:小·中学生、学生·一般、

65才以上

〔水泳教室〕

1期 5月上旬~7月中旬 2期 10月上旬~12月下旬 3期 1月上旬~3月下旬

対象: 幼児、小·中学生、学生·一般、 65才以上

〔夏休み小学生水泳教室〕

7月下旬~8月上旬

[短期水泳教室]

春期一4月、夏期一8月~9月

〔その他の事業〕

(6月) 指画展 花の展示会 (6月、8月) フリーマーケット (6月、11月、3月) 着衣泳講習会 (6月) (8月) 水球教室 カヌー教室 (10月)

ニュースポーツフェスティバル(10月) 小学生卓球大会 (12月)

レディースバドミントン大会(12月) (2月) 泳力検定会

住 所 〒680-0847 鳥取市天神町50-2

電 話 0857-24-2815 ホームページ http://www.k4.dion.ne.jp/~t-santai/

FAX 0857-24-2815 Eメール tottoriokunaipool-1@m.dion.ne.jp

鳥取県立倉吉体育館文化会館

施設長より一言



地域密着型の街中のオアシスとして、スポーツと文化の普及を目指して、低価格のスポーツ・文化教室を開催しております。 大小6つの会議室とメインアリーナ(大体育館)があり、どなたでも使用できます。倉吉駅から徒歩5分!会議にスポーツにご利用ください。皆様のご来館を職員一同お待ちしています。



施設の年間事業

【スポーツ教室】

- ・ストレッチ、ジャズ体操教室
- ・テニス教室
- ·健康教室
- ・ラージボール卓球 & 軽スポーツ教室
- バドミントン教室
- ·太極拳教室
- ウオーキング教室
- エアロビクス教室

【文化教室】

- ・折り紙教室
- グラスアート教室
- フラワーアレンジメント教室
- ・書道教室
- ・パソコン教室
- ·英会話教室
- ・着物着付け教室

【その他事業】

- ・めだか保存
- ・ウオーキングコースの設置
- ・一坪花壇(エコガーデニング)
- ・あなたの町や村に行きます

(出前指導)

- ・スポーツと文化の祭「体文祭」
- ・のき下セール (リユース)

	住	所	〒682-0023	倉吉市山根529-2
--	---	---	-----------	------------

電話 0858-26-4441 ホームページ http://www.ncn-k.net/kurabun

鳥取県営米子屋内プール

施設長より一言



日本有数の温泉で日本トライアスロン発祥の地である皆生温泉と海に隣接し、採光抜群で明るく気持ちのいい25m6コースの屋内プールです。幼児から高齢者の方々まで参加できる水泳教室とアリーナではバドミントン教室をはじめ、楽しいスポーツ教室を用意しています。どなたにもスポーツを楽しんでいただけるよう支援しています。



施設の年間事業

【通 年】

水泳教室

バドミントン教室

· 3 B 体操教室

·Jr.トライアスロン教室

7月 全日本トライアスロン皆生大会

10月 Challanged アクアスロン

全国大会

住 所	〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉	₹3-18-3	
電話	0859-34-6750	ホームページ	http://www5.ocn.ne.jp/~yo-pool/
FAX	0859-34-0250	Eメール	yonagopool@green.ocn.ne.jp

鳥取県立米子産業体育館

施設長より一言



メインアリーナ、サブアリーナ、会議室があり、大規模なスポーツ大会、催し物に対応できる施設として、全国大会、県大会等、県西部スポーツの主会場としてご利用いただいています。

一方、競技スポーツを行う方以外にもスポーツ・健康に関する情報 コーナー・フィットネスルームの開設並びに、健康増進のための各 種のスポーツ教室を実施しております。お気軽にご来館ください。



施設の年間事業

○親子体力測定会

○館長杯バウンドテニス親善大会

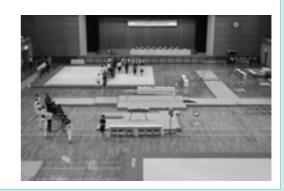
○館長杯バドミントン親善大会 ○スポーツ教室

■年間コース

大人の教室	こどもの教室
メタボ撲滅	体操・体育
パワーヨガ	サッカー
ソフトヨガ	バドミントン
ヒップホップ	ヒップホップ
ヨガ&ピラティス	レスリング

■短期コース

大人の教室
バドミントン
バウンドテニス
健康体操
ニュースポーツ



住 所	〒683-0802 米子市東福原8丁目2	7 – 1	
電話	0859-35-0611	ホームページ	http://yonagosantai.com
FAX	0859-35-0647	Eメール	santai35@rapid.ocn.ne.jp

鳥取県立武道館

施設長より一言

武道を通じて青少年の健全育成を!



県立武道館では、青少年の武道大会、1年間通じての武道教室等を開催しています。これらに参加することにより、武道の心を学んでください。また、会議室、研修室だけのご利用もできますので気軽にお問い合わせください。



施設の年間事業

◎自主事業

通年 鳥取県立武道館武道教室(7競技)

4月 鳥取県空手道指導者養成講習会

5月 鳥取県武術太極拳指導者養成講習会

2月 鳥取県なぎなた指導者養成講習会

9月 鳥取県青少年柔道大会

12月 鳥取県青少年弓道大会

1月 鳥取県青少年剣道大会

1月 鳥取県立武道館鏡開き式(初稽古会)

◎日本武道館共催事業

6月 地域社会弓道指導者研修会

6月 地域社会柔道指導者研修会

7月 地域社会銃剣道指導者研修会

7月 地方青少年相撲錬成大会

住	所	〒683-0853	鳥取県米子市両三柳3	192-14	
重	≣£	0850_21_030	<u> </u>	ホームページ	htt

電話 0859-24-9300 ホームページ http://www.budoukan.jp/

FAX 0859-24-9311 Eメール budoukan@gamma.ocn.ne.jp



対象となる事故 団体活動中の事故/往復中の事故

間 平成21年4月1日午前0時より平成22年3月31日午後12時まで(申込受付は平成21年3月から)

加入区分・掛金・補償金額(団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。) ご加入ください

20.	入対象者	補償対象となる団体活動等	加入 区分	年期掛金	死亡	傷害保険3 後遺跡高	(額 入 炭	28 12	賠償責任保険 て人補限度額	共演見舞金
	子ども	団体活動全般 (スポーツ・文化・ボランティア・鬼味活動など)	A1	600 _円		3,000万円	4,000m	1,500m	タ書を製造し 身体・対策組織 合質 1事故 5億円 ただし、身体形質は 1人 1億円	突然死 / 急性心不全 \
中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。)		団体活動全般	_		2,100万円	3,150 mm	5,000m	2,000円		180万円
		上記以外 (別人法的・個人検罪など)	AW	1,150円	100万円	150万円	1,000m	500m	身体 耐能能質 台灣 1事故 500万円	対象と なりません
		文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	Aa	600m	2,000万円	3,0007779	4,000円	1,500m		突然死 (金性な不全 (最内的曲など) 180万円
*	高校生以上	スポーツ活動 スポーツ活動の指導	С	1,600円	2,000万円	3,000万円	4,000m	1,500m		
À		子どものスポーツ活動の指導限定 のCK分でも加入可	AC	1,100m	1,000% P3	1,500万円	2,500m	1,000m	Title Family States 2	
	65歳 以上	スポーツ活動 のこぼ分でも加入可 のスポーツ活動を行わない方は A2 区分	В	800R	600 _{万円}	900 _{万円}	1,800円	1,000m	ただし、身体胎側は1人 1億円	
全年齢		危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000m		

の同一(日本で1E)LotalAできません。中途加入する場合、中途投送する場合も年間排金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※掛金には(団)スポーツ安全協会で獲君する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。 ※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません



〒680-0944 鳥取市布勢146-1 TEL 0857-28-1288 @MR. 48596-48596(土. B. REDERC.)

保険の詳しい内容、資料の請求は、 ホームページをご覧ください。

http://www.sportsanzen.org

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全協会権事業局特別が等害通復事業施、スポーツ安全協会指揮責任保険料的が常良技能需責任保険制、の概要についてご紹介したものです。保険の内容は 「スポーツ安全保険のあらまし」もご覧くられ、詳細な保険的飲みよび料料者によりますが、ご不明の点がございせしたと同じスポーツ安全協会または東京海上日間大災保険用までも問い合わってください。

東京海上日動大災保険株式会社 公務第2部第1課 TEL 03-5223-2607 (平部: 31~-17:0) (共同引受保険会社(年成21年4月子文)の子告なく変更となる場合があります。 あいおい機器 月 東 欠 災 関係ジャパン 大 月 欠 災 変数為上日動 日 新 火 災 ニッセイ同転機器 日本興業機器 富 土 火 災 三非住友為上